

【 熊本 S.J.C.D.例会 抄録 】

演 題 咬合支持を喪失した症例の補綴方針立案について

発表日：2010年2月23日

発表者：山口 彩子

keywords

1. 治療計画；基礎資料
2. 下顎位
3. 基礎疾患

抄録

2008年秋に S.J.C.D.に入会し、丸一年が経過しました。同じ 2008年4月より病床 315床の精神病院歯科に勤務しています。精神疾患や認知症などのために齲蝕・歯周病のコントロールが難しい患者さんを診療していくうちに、重度齲蝕や歯周病、不随意的な身体の動きにおける咬合性外傷が原因で多数の歯牙を失い、咬合高径の低下や咬合支持の喪失、時には著しい下顎の偏位を起こしてしまっている重症例を目にすることが多くなってきました。

収益の低い保険診療中心のなかで、自分がいかにいままで顎位というものを見て見ぬ振りをしてきたかを反省し、今の病院に着任する以前に取り組んだ症例を振り返り、治療方針について見落としている点を検証してみました。今回の発表に関して先生方に様々なご指摘を頂けると幸いです。またこれから取り組む症例の治療方針について先生方にご意見頂きたく存じます。